

登録コード	E2522900	開講年度	2026				
授業科目	彫刻演習					担当教員	猪瀬 昌延
英文授業名	Seminar in Sculpture					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学生	
講義室	教育N 1 1 0			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	美術教育の重要性と可能性を理解し、立体造形に関わる用具の確かな使用方法を身に付けるとともに、扱う素材の特性と魅力を十分に活かした指導ができるようになる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	彫刻表現における基本素材と技法の理解ができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	木彫の基本的な技法を理解し、塑造表現では得ることのできない造形効果を体感する。また、彫刻素材として扱われる木材が持つ造形の特性について学習するとともに、素材や使用工具の特性を知り、安全で有効な表現方法を修得する。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：木彫表現と木材の性質 第 3 回：モチーフの決定とデッサン 第 4 回：制作 マケットの制作 第 5 回：木取り・墨入れ 第 6 回：刃物の特徴と使い方 第 7 回：木工機安全講習（バンドソー、チェンソーほか） 第 8 回：面とバランス 第 9 回：粗彫り 第10回：寄木の解説 第11回：粗密の関係 第12回：仕上げについて 第13回：着色の技法と表現効果 第14回：仕上げと講評（授業アンケート） 作品提出 ※教育実習での欠席は、別途補講を行う。						
(6)成績評価の方法	課題作品の評価（80％）、授業への取り組みや学習状況20％を含め評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（i）授業で示した用具及び素材の加工が適切であり、（ii）素材やその技法を効果的に生かし、（iii）基礎的造形性の把握ができており、（iv）その上で造形表現における楽しさを受講生同士で共感し（v）作品に主題が表現されていることで教員を感心させるレベルであれば「卓越している」。（i）から（v）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	前授業行った制作の続きと次授業までの制作到達目標の指示に従い、制作を進めてから授業に臨むこと。各回授業内に次授業で必要となる用具や素材の準備等に関して説明を行う。						
(9)履修上の注意	制作において材料費が必要となる。 大型の作品を制作する受講生は、大鑿の購入が望ましい。 作業に適した服装と防塵対策が必要となる。 修学状況に応じて授業時間外での制作が必要となる。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室 北校舎N112, 連絡先 minose@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	「彫刻をつくる」建畠覚造ほか 美術出版（2400円） その他木彫に関する作品集や技法書など随時紹介する。						